

むいせきわ・函館

▽日本全国段々と沸騰して来た様な感じが致します。と思えば、線状降水帯が突然と発生し滝の様な雨が降っている地域もあり今年も天候に翻弄される一年になる様です。

▽翻弄と言えば、本部・日砕協においても会費徴収の方法等で「カタカタ」している状況です。皆様方には、余計な調査表をご記入して頂き大変に申し訳なく思っております。

▽新体制になってから会費問題も解決しない中で前体制から引き継ぎ、現在も協議されている状況ですが、本部活動の充実性と躍動感ある活動をするために最低限の運営費を決めて検討している処です。会費の値上げは、昨今の社会情勢からして理解して頂き、その中で函館支部は「理解を得た処ですが、その会費徴収方法について協議されております。▽本部は、総務委員会、技術・安全委員会、特命委員会、会費検討委員会と理事会に提案する議案について協議する委員会活動をしておりますが、その中で会費については集中的に協議する意味で会費検討委員会を設置し次年度の予算編成に向けて話し合っております。▽今回のさいせき函館については、その点についての流れを説明させて頂きます。



日砕協本部

6月6日(木)東京都・新宿の定期総会の翌日7日(金)五反田にて令和6年第2回会費検討委員会が開催されました。委員会は、本部の今後の在り方として

「充実性のある組織づくり」を基本に事務局体制の強化と組織づくりをするために会費の値上げと新たな徴収方法が検討され、諸物価高騰の折、会費の値上げは避けて通れない問題として理解を得ましたが、それに見合う事業内容も強く求められる事から才田会長案の考えを基に以下四点について協議されました。

- ① 会費の徴収方法について
- ② 組織のあり方について
- ③ 会費算定基準について
- ④ 値上げを行うタイミングについて

その中で①については会費は、各事業所と本部会費徴収代行銀行に対して振込式にすると言った案件。

③については皆様方に調査表を依頼した案件ですが、算定基準は事業所規模に合わせて会費査定するランク制にする。

その③の資料としてお願いした処です。ちなみに各委員会の在り方について

■総務委員会は、会務の円滑かつ健全な運営等について協議しております。

■技術・安全委員会は、砕石フォーラムの運営ほか、余剰路盤材、外国人労働者の業種指定や労働災害撲滅などの砕石業界の課題の解決等の取組

■特命委員会は、全国組織として協会活動の適正化を図るため退会した県支部の復帰を図る活動

■会費検討委員会は、会費の算定基準や会費規程の検討等を協議しております。



函館支部・北海道地方本部の考え方

①については、各社が直接、本部に対して納金する事については反対の立場を取りたいと考えました。また、③も含めた考え方として以下の理由を提案して行きたいと考えております。

- ・日砕協は、データを支部・地方本部の提出でランクを決める事になるのであれば日砕協は、会費だけ納める事だけに感じられ加入している有益性が希薄化するのではないか。
- ・直接納金する事で各社は二重に会費を納める様な錯覚を起こす。
- ・現在の支部・地方本部から日砕協に収めている会費と各社が納める事は金額さえ決まればまとめて支払う事に対して何ら変化がないので変える必要性がない。
- ・現在、日砕協→地方本部→支部と言った流れで情報共有している中で日砕協→各社でのやり取りでは支部・地方本部の情報共有、しずらくなるのではないか。

以上の点で会員の脱退が出る恐れも考えられる。

・ランク制にする事は、規模の大小によって会費が決まり、それはそれで納得できるものと感じるが販売額を算定根拠にする事は各地支部によって内容に大きな乖離を生むことになると思うので認可数量を提案したい。

尚、次回会費検討委員会は7月30日を予定しており、それまでに北海道としての考えをまとめて参りたいと思えます。

日砕協北海道地方本部・道砕協連事業

- 北海道地方本部・連合会の今後の予定
- ・ 7月17日
- 北海道地方本部事務局局長会議
- ・ 9月上旬 技術研究会
- ・ 10月上旬 連合会「情報交換会」

道南地区砕石協同組合・協会

- ①6月9日(日) 午後4時〜国際ホテル 衆議院議員候補 向山じゅんと道南の未来を語る会に 組合・協会として出席致しました。
- ②6月11日(火) 午後3時半から 令和6年度第一回理事会
- ・ 委員会委員の委嘱等について協議 任期は、令和6年から8年まで
- ・ 総務委員会委員長 高木和寿社長
- ・ 副委員長 坂上忠義社長
- ・ 流通委員会委員長 村上二三社長
- ・ 副委員長 坂上忠義社長
- ・ 緑化対策及び教育安全委員会
- ・ 委員長 安岡硬社長
- ・ 副委員長 高木和寿社長

と成りました。本年度も委員会活動の充実を図り情報意識の向上と共有を図ってまいりますので宜しくお願い致します。

今回のさいせき函館は、日砕協の会費の在り方について述べさせて頂きました。まだまだ、変化変更があるかもしれません。不明な点が有れば事務局に連絡下さい。

